

ふくさき

議会だより

第119号

平成23年
8月4日

兵庫県福崎町議会



みんなの願い
天までとどけ☆

(八千種幼稚園・7月14日)

6月定例会

22年度水道・工業用水道会計決算を認定
年間総配水量277万 m^3

2

議会インタビュー NPO法人「ハートフルガーデン中播磨」

4

常任委員会報告 総務文教・民生・産業建設

5

ここが聞きたい！一般質問（7人が町政を問う）

8

わたしもひとこと「中国人が見た日本人の礼儀正しさ」

12

事業会計決算を認定

277万^m (東京ドーム約2.2杯分)

6月定例会は6月10日に開会し、13日間の会期で6月22日に閉会しました。

(財)柳田國男・松岡家顕彰会事業報告、水道事業会計決算認定、固定資産評価審査委員会委員の選任など報告5件、議案21件を審議し、すべての議案を原案のとおり可決しました。

一般質問は、7人の議員が行政上の問題点をたずねました。

議案ごとの質疑

水道事業会計決算認定

議員 1日の最大送水日が昨夏の猛暑、炎暑の日を抑えて、23年1月19日とこの冬一番寒かった時期になっている理由は、

水道課長 1月19日早朝に中島の石綿管で漏水事故が発生、併せて寒波積雪で中国道や播但道の融雪に水道水が多く使用されたのが理由です。

議員 貸借対照表によると現金預金が6億4500万円超ある。一方平

成4年の二つの企業債が償還利子5・65%、5・05%と高く、非常に多くの利息を払っている状態である。繰上償還なり一括償還はできないのか。

水道課長 現在、平成4年の一口は繰上償還の申請をしています。もう一口は借入年度の関係で申請できていません。

議員 利益剰余金処分額の減債積立金を今までは5%しか積立てていなか

ったが、22年度は約25%積立てているのは繰上償還への備えが大きな理由か。

水道課長 そのとおりです。

議員 水道会計は企業会計であり、その利益金の積立方法に関し減債積立金とするのか、建設改良積立金とするのか、検討がいろいろあると思う。減債積立金は法定の5%とし、残りは今後の設備投資に重点を置いた利益金の配分方式という従来の福岡町の方針を守るべきだと思うが、今後の整備計画との関連の中で、どのような財政運営を考えているのか。

水道課長 ご指摘のとおり耐震関係の建設改良といった大きな事業も予定がありますが、23年度予算で繰上償還を予定しており、減債積立金を3000万円取り崩す予定ですので、今回は減債積立金に1000万円を積み立てました。

議員 決算に対する監査意見での業務実績と経営指標に関し、当座比率について約85.38%と全国平均約83.8%と比べて一けた違っており、監査意見で資金の運用に努力が求められている。資金をうまく運用すればも

っと良い決算となると思える。これは企業経営での財政運営の常識的な問題であるのでは非とも努力してほしい。

水道課長 ご指摘の意見は今後検討していきたいと思っています。

給水水量等の動き (上水道)

	平成22年度	平成21年度	平成20年度
配水総量	277万 ^m	278万 ^m	296万 ^m
給水量	251万 ^m	250万 ^m	255万 ^m
有収率	90.4%	89.8%	86.1%
給水収益	2億9,496万円	2億9,407万円	3億75万円
給水原価	115円92銭	120円48銭	130円49銭
供給単価	117円45銭	117円45銭	117円92銭
給水戸数	7,433戸	7,403戸	7,387戸
建設改良積立金	3億7,080万円	3億4,380万円	2億8,380万円

※有収率……料金収入を得た割合 (給水量/配水総量)

22年度水道・工業用水道 年間総配水量

工業用水道事業会計決算認定

議員 業者別使用水量・料金資料をみると、契約日量水量と使用水量に整合性のない契約がある。基本料金と使用料金の関係になるが、工業用水道の適正な契約水量を保つていくためには契約の更新も必要ではないのか。

水道課長 契約水量等については、料金も含め今後の検討課題です。

議員 以前にもそのような答えをもらっている。どのような検討を行ったのか。料金改正の見通しは持っているのか。

水道課長 決算審査時に監査委員からも指摘があり、契約水量のみならず超過水量を含めての料金設定を検討していきたいと考えています。

副町長 現在の契約水量は2020トンで、水源別送水能力の合計4000トンのうち、今のところ2000トンしか能力

を発揮していない形です。このような中で今後、新たな設備投資等の必要性も考慮してその資本のあり方等の見直しも含め、また、議員指摘の状態の解消も考慮に入れて検討を行うことにしています。

22年度水道事業・工業用水道事業会計決算

区 分		収 入	支 出
水道	収益的収支	3億4,771万円	3億639万円
	資本的収支	1億415万円	1億6,965万円
工業用水道	収益的収支	2,571万円	2,474万円
	資本的収支	2,704万円	5,524万円

※1収益的収支・・・事業の管理・運営にかかわる収支
(水道料金を主な収入として営業活動を実施)

※2資本的収支・・・施設の新設や更新にかかわる収支
(町からの出資金や企業債を主な収入として)
配水管の布設や改良事業を実施

(仮称) 田原幼稚園建設工事請負契約

議員 (仮称) 田原幼稚園は現在の田原幼稚園の西側にかなり大きな保育所施設が増設され、職員室が一番西の方に置かれる。0歳児や1歳児は職員室の近くでよいと思うが、幼稚園あるいは長時間部として使われる旧の田原幼稚園の教室が職員室から遠くなる。非常の場合の緊急連絡方法等の検討は、まちづくり課長 全体では大きな施設になります。が、玄関の位置、職員室の位置などは検討委員会で総合的に検討してこの形になりました。セキュリティ等については子どもの安全を第一に、十分に配慮、検討を加えていきます。



(仮称) 田原幼稚園完成予想図

固定資産評価審査委員2名を再任

固定資産評価審査委員会委員の任期満了にともない、現委員の高寄實氏および後藤雄幸氏を再任することに同意しました。

住所

福岡市福岡796番地

氏名

高寄 実

生年月日

昭和15年7月29日

任期

平成23年6月17日～
平成26年6月16日

住所

福岡市南田原213番地

氏名

後藤 雄幸

生年月日

昭和20年1月13日

任期

平成23年8月2日～
平成26年8月1日

議会インタビュー



NPO法人

「ハートフルガーデン中播磨」

理事長 澤田 芳昭さん



設立のいきさつ、現在の
会員数は

平成14年に代表の澤田さんが自宅前の休耕田を活用してオープンガーデンを開催したのをきっかけに福岡市内の花好きの仲間数名が集まり、オープンガーデンの会が生まれました。

この会の活動に中播磨県民局が関心を示し、中播磨地域全体にネットワークを拡大して平成18年会員約30名で「中播磨ハートフルネット」が発足しました。事務局は県民局が受け持ち、4月と5月に時期を合わせて一斉



にオープンガーデンを開催するようになりました。

その後、各ガーデンの状況やオープンの日を入れたパンフレットを発行して周知を図り、多くの見学者が各会員宅に訪れるようになりました。現在は約90名の会員が活動しています。

NPO法人への移行理由は

中播磨地区は瀬戸内に面した平野部から、県北近くの山間地までをそのエリアに含んでいるためにたいへん広く、それぞれの地域の特性を生かした活動をしようと、「銀の馬車道フラワーロードづくり」を県民局に提案し、取り組みが始まっています。この新しい取組みに対応できるようにするほか、各会員がガーデンづくりで培ったノウハウを生かし、更に事業を拡大して組織化を図ろうと、昨年4月にNPO法人化して現在の名前にしました。

サルビア田園アートは

県民局と連携しての取り組みを進めていた矢先、福岡市制55周年を記念して辻川界隈・もちむぎのやかた北での町花サルビアを使った田園アートの企画が持ち上がり、法人化していることもあって当会に企画管理の依頼がありました。初めての大きなサルビアアートですので、苦労しながらの取り組みとなっています。

これからの方向は

いま、花のみならず音楽ともセットで障がい者や引きこもりの方などを癒す「ヒーリングガーデン」があり、姫路市内ではすでに実施されている所があります。精神的な支援事業を展開している姫路のNPO法人とも連携して、このような事業の取り組みの輪を広げていきたいと思っています。

柳田國男が県の道徳副読本に紹介

中学生用「民俗学の創始者」として



県教育委員会が作成した中学生用の道徳副読本「心かがやく」に、日本民俗学の創始者として柳田國男が紹介されました。この本では、柳田國男が民俗学をうち立てようとした動機に絞って、そ

の人生について書かれています。8月の柳田國男50年祭とともに、今後、県内の中学生がさらに柳田國男に関心をもってもらえることと期待しています。



(仮称)田原幼稚園 起工

(仮称) 田原幼稚園の起工式が7月12日(火)に行われました。当日は曇り空でしたが、町長、議長、その他多く
の関係者が出席し、工事の無事を祈願しました。今後、工事が行われていき、平成24年3月の完成を目指します

委員長	東森 修一
副委員長	釜坂 道弘
委員	志水 正幸
委員	富田 昭市
委員	広岡 史郎

4月29日(金)に行われた姫路市春季記録会において、石山歩くん(東中)が円盤投げで日本中学新記録(62m93cm)で優勝しました。今後の更なる活躍が期待されます。

石山歩くん(東中) 円盤投げで日本中学新

デマンド型交通を検討

23年度に実験運行予定



デマンド型交通導入の 実験運行を検討

町の将来交通体系を検討している地域公共交通会議では、23年度にデマンド型交通（案）を中心に実験運行の方法を検討しています。

検討内容

- 実験運行導入地区（町全域または地区限定）
- 巡回バスサルビア号の今後の運行（現行通りまたは地区限定）

● デマンド型交通運行方法

- ・ 運行型（フルデマンドまたはバス停方式）
- ・ 予約の方法
- ・ 運行事業者
- ・ 有料化の検討

*デマンド交通とは

利用者の求めに応じて車両が運行されるシステムです。

巡回バス利用状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
利用者数	15,209人	14,667人	12,778人
対前年比	100.7%	96.4%	87.1%
1日平均	42人	41人	36人

巡回バスの利用人員はここ3年間 減少傾向にあります。

町消防操法大会を開催

郡大会では福田分団が優勝

5月15日（日）に福岡町消防団消防操法大会が開催されました。成績は、自動車ポンプの部 優勝 新町分団 優勝 福田分団 小型動力ポンプの部 優勝 庄分団 準優勝 福田分団 でした。

なお、以上の3分団は6月26日（日）に田原小学校で開催された郡大会に出場し、小型動力ポンプの部で福田分団が優勝、庄分団が準優勝、新町分団も自動車ポンプの部で3位と輝かしい成績を収めました。

介護保険

アンケート

氏名は希望者のみに

介護保険の計画策定のためアンケートが実施されました。当初は氏名を記入することになっていましたが、「人権問題や住民の傾向を把握するのに氏名まで明白にする必要はない」との意見があり、希望者のみ氏名を記入することになりました。

水道課が

震災支援

東日本大震災の被災地である陸前高田市の水道給水支援のため、4月28日～5月5日まで職員2名が派遣されました。

委員長 難波 靖通
副委員長 牛尾 雅一
委員 小林 博
委員 高井 國年
委員 松岡 秀人

交通広場駐輪場の利用増加

22年度は自転車で過去最高



福崎駅南の交通広場駐輪場の利用伸びる

22年度の交通広場駐輪場の料金徴収時間帯（午前6時～9時）での年間利用実績は、自転車で8

358台、単車で1186台でした。単車は近年横ばい傾向ですが、自転車は年々増

加しており、前年度比60.2台増で過去最高となっています。

砂防事業 板坂口下谷川 砂防えん堤工 事の工程

土石流危険渓流として板坂口下谷川に砂防えん堤工事（高さ7m）が県事業で施工されます。

22年度（実施済）

地形測量

土質調査

詳細設計

23年度

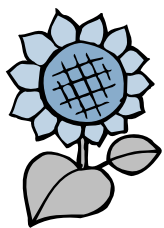
用地測量

砂防指定地申請

用地買収

24年度

えん堤工事



委員長	石野 光市
副委員長	福永 繁一
委員	北山 孝彦
委員	宮内 富夫
委員	吉識 定和



7月20日 県道田口福田線の工事現場

野外センター南の
県道（田口福田線）
拡幅工事
始まる

田口奥池に接する部分の拡幅で、工事区間延長は110m、工期は9月末までです。

ここが聞きたい

一般質問

7人の議員が町政を問う！

議員にとって「一般質問」は、公の場である議会で、議案に関係なく町長の考え方や町政をただす大切な場です。



問 子どもたちの置かれている環境を考えると、それは保護者としては怒りを覚えると思う。予算等の問題もあるが、政府の指導で学校関係の対策を講じてほしいと思うが。

問 避難所の設備は完備されているか。

問 学校施設の耐震化未整備の建物は、
学校教育課長 田原小学校の体育館を除き、他はすべて完了しています。



福永 繁一

副町長 文科省では本年5月24日に施設整備の基本方針を改正し、2015年までに全学級の耐震化を目標としました。また田原小学校の体育館を除き耐震化ができたという形で補正予算を組み、22年度に完成させました。耐震化率は全国的には75%。本年度事業を行っても86%で、全学校に至らないので文科省では後一押しとのこと。

問 ゲリラ豪雨が降り、



ゲリラ豪雨で倒伏した大きな黒松

土砂崩れ等が発生し大木が散策される道をふさぐので安全上の施策を、まちづくり課長 通行不能の時は通行できるように努めます。また看板の取り付けは検討します。

問 町消防団は仕事を持ち夜間に操法の訓練をされているが、福岡小学校にナイター設備はできないか。

住民生活課長 近くに病院等があるため、断念した経緯があります。

避難所の設備は完備されているか

災害発生時の避難所の機能強化が必要です

人口増のため、公営の結婚相談所を

県や公益団体の事業に協力したい



牛尾 雅一

食費の無料化が必要では、**学校教育課長** 生活困窮者に対する制度もありますので、今のところ考えていません。

働く場の確保のために企業誘致の推進を

問 人口増のために若年世帯の定住を図る施策として企業誘致の促進が急務と思う。当町の工業団地の未分譲地は東部工業団地に多い。近年、景気の低迷が続き、企業にとって進出しにくい状況で

あるので何らかの優遇措置をしてでも推進を図るべきと考えるが。
産業課長 既存立地企業との公平性等から、優遇制度は考えていません。

問 住みよい町づくりには生活道路の整備が大事だ。例えば福田山崎線の整備計画はどうなっているか。

まちづくり課長 早期の事業着手は困難ですが、中長期的に取り組む課題と認識しています。



未整備の福田山崎線

教室の暑熱対策は

特別支援学級で採用を検討してみます



石野 光市

援学級では現場の意見等を聞き、検討します。

問 食育の推進の一環として、また独自にも食中毒予防について知識、留意点について啓発が広く繰り返されるべきだ。従来から高温多湿の7、8月期は細菌等が増殖しやすい上、ゴキブリ、ハエ、ダニ等の活動が活発になり、菌の媒介等、食中毒の危険性が指摘されてきた。また冬季もノロウイルスによる集団食

中毒、感染症も多発傾向だ。さらに食の安全で輸入食品は船での長期輸送による虫食い、カビの害を防ぐため、収穫後の果物、穀物、野菜等で農薬の使用が問題視されてきた。

学校等でも、広報、町ホームページ等でも啓発を積極的に推進すべきだ。
健康福祉課長 町広報7月号からの食育コーナーでPR等、啓発に努めます。

使いにくいのではないかと。試行例として夏休みの朝から夕方まで使用する学童保育園、情報障がい等の特別支援学級での検討はどうか。
教育長 学童保育園の教室はエアコンを設置しており、カーテンと併用で対応しています。特別支



東中学校の教室の窓

東部工業団地の積極的な企業誘致を！

企業誘致の特例措置は困難。今後も相談は応じる



志 水 正 幸

問 本町の東部工業団地に遊休地が4区画ある。

誘致の企業に特例措置を講じて誘致を促進すればどうか。町民の雇用の確保や税収の増収につながるのではないか。

産業課長 工業団地の実施主体は民間企業であり、企業誘致の特例措置は困難です。今後も誘致の案内や相談に応じます。

洋式トイレへの改修は

問 公共施設のトイレに和式が多い。利用実態に合った洋式トイレ、障がい者トイレ、おむつ交換台、使い捨て便座シートや消毒液の設置などがセ

ットになった多機能トイレに改修すべきでないか。
町長 生活環境も変化し、トイレも文化で、衛生の中心です。今後は利用者の実態や要望に応えるよう整備を図ります。

地域主権3法の施行は

問 この法律の施行で、国と地方が対等の立場で協議し、「地方のことは地方で決める」こととなる。本町への影響は、また、神崎郡3町の特徴と

個性を活かした広域行政をさらに推進すべきでは
副町長 国と地方は対等と言われていますが、地方といっても県と市町では立場も異なり、対等となり得るか疑問であり、今後の協議を見守りたい。また、神崎郡3町の緊急な課題はないが、銀の馬車道を踏まえた観光、地域災害等の防災、人口流出を想定した定住自立圏構想などは検討すべき項目と認識しています。



東部工業団地の遊休地（4区画）の一部

火災警報器の設置状況は

実態調査をする予定



吉 識 定 和

問 町では関西電力の「15%節電要請」に協力する

のか、しないのか、福崎町長としての答弁を。
町長 ムダを省いて、有効に使うという意味では協力します。

問 町としての節電策は、
総務課長 昼休み消灯、

早期退庁、始業終業前30分間冷房を切る、廊下の間引き消灯、パソコンの自動休止設定等です。

問 テレビの地デジ化についてはいいよ余すところ1ヶ月になった。町内の今の状況は、
企画財政課長 各家庭の

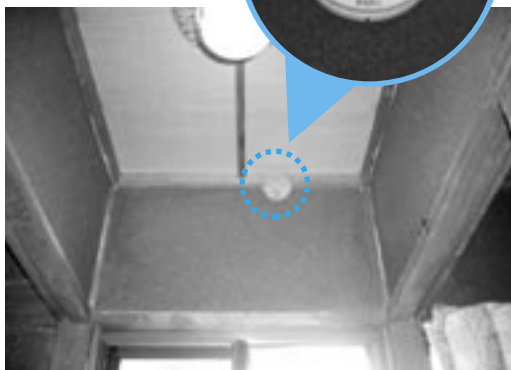
状況は確認のしようがありませんが、共聴や電波

障害の問題は解消しています。21年7月に公民館を回って説明会も実施しましたので、今のところは特段問題はないと考えています。

問 特に高齢者夫婦・独

居老人世帯のことが気にかかる。どうなっているか。把握している状況を、
企画財政課長 デジサポート兵庫があり、8月下旬まで電話で対応します。

問 火災警報器については設置期限が5月末だったと思うが、町内の状況はどうなっているか。命と暮らしを守る町は今後どのようなことをするのか。
住民生活課長 町内の設置状況は分かりません。今後、実態調査と合わせ火災予防の大切さを住民に呼びかけます。



設置された火災警報器

重大災害の危機管理は

関係機関との連携で対応します



富田 昭 市

災害時にも対応できる場所と考えています。

危機管理と情報システムについて

問 各学校においては耐震性の補強確保だけでなく、重大災害の発生に備えて食料・生活に必要な物が提供できるような物資の備蓄も必要と考えるが、当局の対策と考えるは、

住民生活課長 本町では防災に備えて東大貫と長野の2箇所に備蓄倉庫を設置して災害時に備えています。

問 現在の2箇所の備蓄倉庫は山間部と川沿いに設置しており、大災害が発生すると大変危険な状態になり物資を取りに行けないのでは、
住民生活課長 町が発行している防災マップでは

問 福岡町が大規模な自然災害に見舞われた時、被災者を救護・支援し、かつ迅速な復旧・復興作業をしなければならぬ。危機管理と情報システムはそのために必要だが、町の管理体制は、

住民生活課長 大災害が発生した時には、県や関係機関に救援情報の連絡



水防訓練の成果（せき板工法）

やマニュアルに基づき取り組んでいきます。

フードバンクについて

問 町が直接かわっている給食センターともちむぎ食品センターでの食品廃棄物の年間発生量は、また効率的な食品循環資源の再生利用の取り組みは、

産業課長 年間で1860キロ出ています。業者が引き取り処分しています。

預けやすい保育所・幼稚園などの充実を

十分な施設と運営に努めます



小林 博

問 子育て支援①保育所・幼稚園の整備を進めている。入所状況を見ると低年齢児が少ない。入所希望増加を見込んでいるか？保育料は保育所定員が大きく関係する。田原幼稚園は150人定員施設となるか？②学童保育園に主任指導員が配置されたが、運営は？

学校教育課長 ①入所希望増には応えられます。150人定員は維持します。②基本的な方針を指導員共通のものとし毎日の確認も行っています。
問 町内には多くの文化財がある。文化財指定のないものにも光を当てな

いなくなる危険がある。教育委員会でも検討を。教育長 検討します。

問 防災問題①大雨対策では急傾斜地対策事業、山崎や福田方面の水害常襲地の対策は計画通りに進んでいるか？②地域防災力の強化が言われているが具体的な方策は？消火栓器具や操法練習場確保に町の責任の強化を。水道施設の整備は、

まちづくり課長 西谷地区の急傾斜地対策は今年度、測量設計などを実施する予定です。

下水道課長 川端川は今年度測量設計を予定しています。

住民生活課長 地域の防災組織の活動促進に取り組んでいます。

水道課長 水管橋は第2次診断へ。山崎配水タンクは進入路工事中です。



急傾斜地対策予定地

問 ①駅前整備計画の進捗②中島井ノ口線③国道312号の側溝整備は、
技監 ①関係機関と協議を進めています
まちづくり課長 ②県とともに整備を進めています③6月23日に入札を予定しています。

ふくさきフォトニュース



虫送りとは、農作物の害虫を
駆除し、その年の豊作を祈願
する伝統行事

虫送り（7月23日・山崎地区）

お知らせ

写真と「わたしもひとこと」の原稿を募集しています。

写真は町内の最近の風物景色、行事等を写したものの、「わたしもひとこと」は町政、議会に対する意見や願いを（短文で可）。写真原稿等はEメール、郵送で下記までお送りください。

なお、提出された写真、原稿等は返却しませんのでご容赦ください。次回の締切日は9月30日（金）です。

わたしもひとこと

中国人が見た日本人の礼儀正しさ

山崎 荻野 豊和

二年前、中国瀋陽市から友人がやって来ました。日本に来て一番感じたのは、山河の美しさ、空気がきれいだったことだそうです。そして、それ以上に日本人の礼儀正しさ、やさしさが印象深かったようです。

道を歩いていて、知らない人が「おはようございます」とあいさつをしてきたり、横断歩道で立っていると車が止まってくれたり、中国では考えられないことだそう。中国国内で聞く日本、又、日本人と実際に会ってみるとは大きな違いがあったようで、ぜひ再度、日本に来てみたいとの話でした。

先日、朝に町内を散歩していると、高校生に「おはようございます」というあいさつをされました。私もすぐに「おはよう」と返したのですが、その日一日、何となくすがすがしい思いで過ごすことができました。日本人の原点である相手を思いやる気持ち、これが都会で少しずつ少なくなっている中、ぜひ山崎町ではこのようないい習慣を残し、外国から見ているいい町、いい町民を今一度考えていけばと思います。そのため、今まで以上にしっかりとした教育を望みたいのは私だけではないと思います。

編集後記



暑中お見舞い申し上げます。例年になく早い梅雨入り、梅雨明けで、今年も暑く長い夏になっています。くれぐれもお気をつけください。また、福島原発事故の影響は大きく、節電、エコ生活への取り組みだけでなく、放射能に汚染された牛肉も出回りました。「身土不二」やはり地元産の食材が一番安心のようです。議会だよりでは、本会議や各委員会の動きをできるだけわかりやすくお伝えできるよう工夫を重ねています。ご愛読ください。

◆議会広報編集委員会

委員長	広岡 史郎
副委員長	牛尾 雅一
委員	石野 光市
委員	北山 孝彦
委員	志水 正幸
委員	難波 靖通

ふくさき議会だより第119号
平成23年8月4日 発行

発行／兵庫県福崎町議会
編集／議会広報編集委員会
印刷／中井総合印刷株式会社

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原3116-1
TEL:(0790) 22-0560 FAX:(0790) 22-2342
ホームページ：gikai.town.fukusaki.hyogo.jp/

この広報誌は再生紙を使っています。